

<HyConnect/オープンパブリックに関する特則>

1. 適用される利用規約

- (1) 本サービスホームページにおいて掲示される「HyConnect/オープンパブリックトライアル規約」および「本サービスホームページに関する利用規約」は適用されないものとします。

2. 定義

- (1) 「本サービスホームページ」とは、本クラウドサービスのために当社が契約者に限定して開示するサービス公開ホームページのことをいいます。
- (2) 「利用リージョン」とは、契約者が本サービスおよび本トライアルサービスの提供を受けるために選択したリージョンをいいます。
- (3) 「仮想システム」とは、本クラウドサービスにて提供する仮想インフラストラクチャ（仮想マシン、仮想記憶ディスク、仮想通信設備等を含み、これに限られない）の集合体をいいます。

3. 規約の変更

- (1) 利用規約第3条第2項の定めによらず、当社は契約者に不利益を及ぼさないと当社が判断した本クラウドサービスの新たな追加または内容の変更については、予告期間をおかずに変更後のサービス仕様書を本サービスホームページに掲載することで、行うことができるものとします。

4. IDの発行

- (1) 当社は、本クラウドサービスの利用を希望する契約者から申し込みを受けた場合には、当社の裁量により、本サービスホームページの利用を許可するとともに、本サービスホームページを利用するために必要となるID（以下「ログインID」という）を発行するものとします。
- (2) 当社は、契約者が次の各号のいずれかに該当する場合には、ログインIDを発行しないことができるものとします。また、当社は、ログインID発行後に、契約者が次の各号のいずれかに該当することが判明したときには、ログインIDを削除することができるものとします。
 - a. 契約者が虚偽の事実を申告したとき
 - b. 契約者が本サービスの利用にかかる料金の支払を怠るおそれがあるとき
 - c. 本サービスおよび本トライアルサービスの提供が技術上困難なとき
 - d. 契約者が過去に当社または富士通エフ・アイ・ピー株式会社との契約に違反したことがあるとき
 - e. 当社の業務の遂行に支障があるとき、その他当社が不適当と認めたとき
- (3) 契約者は、本サービスホームページの利用を申し込むにあたり、本クラウドサービスの利用を管理する者（以下「利用責任者」という）を1名定めるものとします。また、契約者は、利用責任者の連絡先その他当社に通知した事項に変更が生じたときには、当社所定の書式にてすみやかに変更登録を行うものとします。なお、本サービスホームページまたは当社所定の書式に登録した事項について、虚偽の記載、誤記入、記入漏れ、変更登録の遅延等があったことにより契約者が損害を被った場合であっても、当社は一切の責任を負わないものとします。

5. ID等の管理

- (1) 契約者は、当社より発行されるログインIDおよびパスワード（以下単に「ID等」という）を、第三者に開示、貸与、共有しないとともに、第三者に漏洩することのないよう厳重に管理（パスワードの適宜変更を含む）するものとします。ID等の管理不備、利用上の過誤、第三者の利用等により、契約者および第三者が損害を被った場合、当社は一切の責任を負わないものと

ます。

- (2) 第三者がID等を用いて本サービスホームページを利用した場合、当該利用はすべて契約者の行為とみなされるものとします。
また、当該利用により当社が損害を被った場合、契約者は、当該損害を賠償するものとします。ただし、当社の故意または過失によりID等が第三者に利用された場合はこの限りではないものとします。
- (3) 契約者に提供されたAPIを経由して仮想マシン等の操作がなされた場合には、当該操作はすべて契約者の行為とみなされるものとします。
- (4) 当社は、契約者が本クラウドサービスの利用に関する契約を当社と締結していない場合において、契約者が本サービスホームページを利用しない期間が連続で90日間を超えた場合、契約者への事前の通知もしくは催告なく、契約者のログインIDを削除し、本サービスホームページの利用を終了させることができるものとします。

6. 本クラウドサービスの終了

- (1) 契約者は、仮想システムの利用を終了のうえ、当社に解約の申込を行うことにより、サービス利用契約を解約し、本クラウドサービスの利用を終了することができるものとします。契約者は、サービス利用契約の解約にあたり、仮想システムに登録・保存したデータを、自己の責任と費用負担において、必要に応じ取得するものとします。サービス利用契約は、契約者から当社に解約の申込が到達し、これに対し当社が請書を発行し、当社が契約者の本クラウドサービス利用権限を削除した時点で終了するものとします。なお、契約終了時点において起動している仮想システムが存在するときには、当社は、これを強制的に終了させるものとします。また、サービス利用契約を解約した者は、解約前に仮想システムに登録・保存したデータを参照・閲覧・操作・取得等できないものとします。
- (2) 当社は、契約者が90日以上継続して本クラウドサービスを利用しない場合、書面で通知することによりサービス利用契約を解約することができるものとします。
- (3) 契約者は当社より発行される解約日の前日まで本クラウドサービスを利用できるものとします。

7. 仮想マシン等の利用

- (1) 契約者は、申込請書記載の利用開始日以降、ログインIDを用いて本サービスホームページにおいて所定の操作を行うことにより、仮想マシンの配備（仮想マシンを生成することをいう）、起動（仮想マシンに仮想的に通電することをいう）、停止（仮想マシンになされた仮想的な通電を切断することをいう）、破棄（仮想マシンを消去することをいう）等を自ら行うことができるものとします。

8. 仮想マシンにおけるソフトウェアの利用

- (1) 利用規約第14条第2項第(1)号の定めによらず、契約者は、富士通エフ・アイ・ピー株式会社またはそのライセンサーから別途提示されるライセンス条項に対し同意したうえで本クラウドサービスを利用するものとします。なお、ライセンス条項の提示方法以外の点については、富士通エフ・アイ・ピー株式会社またはそのライセンサー製のソフトウェアについて、同号の規定が適用されるものとします。

ライセンス条項 (<http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/terms/rule.html>)

- (2) 契約者は、仮想マシンにおいて自ら用意したソフトウェアを使用しようとするときには、当該ソフトウェアを仮想マシンにおいて使用することにつき、当該ソフトウェアについて権利を有する者から許諾を得るものとし、当該ソフトウェアの利用により当社に損害を与えた場合、契約者は当該損害を賠償するものとします。

9. 秘密情報の取り扱い

- (1) 利用規約第22条の規定にかかわらず、契約者は、本サービスホームページに掲載された情報を当社の秘密情報として取扱い、本サービスホームページの利用のために知る必要のある自己の役員および従業員以外の第三者に開示・漏洩しないものとします。
- (2) 前項の義務は、契約者のログインIDが削除されてからも5年間、有効に存続するものとします。

10. 一時的な中断および提供停止

- (1) 当社は、次の各号のいずれかに該当する場合には、契約者への事前の通知することなく、本サービスホームページの利用を中断することができるものとします。
- a. 本サービスホームページ提供のための設備の故障等の場合
 - b. 運用上または技術上の理由で、やむを得ない場合
 - c. 当社が提供を受けている他の電気通信事業者の都合により、本サービスホームページを提供するために必要な電気通信回線を利用できない場合
 - d. 当社が、本サービスホームページへのアクセス数またはデータ転送量の著しい増大により、本サービスホームページの提供に支障を来すと判断した場合
 - e. その他天災地変等不可抗力により本サービスホームページを提供できない場合
- (2) 当社は、本サービスホームページの全部または一部が利用できなかったことにより契約者または第三者が損害を被った場合であっても、一切責任を負わないものとします。

11. サービスレベル

利用規約第23条の規定にかかわらず、当社の責に帰すべき事由により本クラウドサービスが利用できなかった場合の当社の責任は、以下の対応を行うことに限られるものとします。

- (1) 当料金月における本クラウドサービスの仮想マシン月間稼働率が99.99%を下回った場合で、翌月15日までに契約者が当社指定の書式にて当社に申請し、当社が当該事象が発生したことを認めた場合、当社は、翌々料金月の利用料金から、当料金月の利用料金の10%に相当する金額を差し引き、契約者に請求するものとします。なお、仮想マシン月間稼働率は、以下の算定式に従い算定するものとします。

仮想マシン月間稼働率 = (仮想マシン総稼働時間 - 仮想マシン総稼働停止時間) ÷ 仮想マシン総稼働時間 × 100

- ・ 仮想マシン総稼働停止時間：仮想マシン総稼働時間中に、仮想マシンが起動していなかった時間（全仮想マシンの延べ時間）。なお、仮想マシンの処理能力等が低下している場合であっても、仮想マシンは起動しているものとします。
- ・ 仮想マシン総稼働時間：当料金月内に起動する全ての仮想マシンの台数（延べ台数）に、24および料金月の日数を乗じた値

- (2) 前号のサービスレベル算定に関しては、契約者が複数のサービス利用契約を当社と締結している場合、それぞれのサービス利用契約単位に算定されるものとします。
- (3) 仮想マシン総稼働停止時間には、以下の事由に起因して仮想マシンが起動していなかった時間を含まないものとします。
- a. 計画メンテナンス、緊急メンテナンス
 - b. 地震、台風、洪水、嵐等の自然災害、感染症の発生、戦争、内乱、暴動
 - c. 行政機関または司法機関の業務を停止する旨の命令
 - d. 契約者の設備の不具合
 - e. 本クラウドサービスに接続するためのアクセス回線の不具合
 - f. 仮想マシン上で動作するソフトウェア（当社または契約者が用意したもの）の不具合
 - g. 契約者が仮想システムに施した設定の不具合

- h. 契約者の不正な操作
- i. 第三者からの攻撃および不正行為
- j. サービス仕様書に定める本クラウドサービスの仕様として発生する仮想マシンの停止

(4) いかなる場合であれ、第(1)号の金額は、当社から契約者に対し現金等により支払われることはないものとします。

12. サービス利用料金

- (1) 当社は、当社が定める手段により、本クラウドサービス利用料金算定の前提となる、各料金月の仮想マシンの配備数量および起動時間、仮想記憶ディスクの配備数量および配備時間、インターネット通信量、ソフトウェアの利用ライセンス数および配備時間ならびにグローバルIPアドレスの利用数量および利用時間等（以下「利用量」という）を計測します。
- (2) ベーシックサービスおよびオプションサービスの利用料金は、単価に料金月中に発生した当該サービスの利用量を乗じて算出されるものとします。
- (3) プレミアムサービスの利用料金については、接続完了日の翌月1日から、利用の有無にかかわらず毎月1日に発生するものとし、その金額は単価に本申込書記載の数量を乗じて算出されるものとします。
- (4) 当料金月における利用料金は、上記(2)および(3)に従い算出されたベーシックサービス、オプションサービスおよびプレミアムサービスの利用料金の合計金額とします。
- (5) 本クラウドサービスの利用料金にかかる消費税および地方消費税（以下「消費税等」という）相当額は、前項に基づき算出される、サービス利用契約全体で合算された利用料金に対して算定されるものとします。なお、消費税等相当額の算定の際の税率は、当該算定時に税法上有効な税率とします。
- (6) 本クラウドサービスのうち、トライアルサービスの利用料金は、無料とします。
- (7) 本サービスホームページの利用に必要となる機器や通信環境の設置、および本クラウドサービスの利用にともない発生する費用は、契約者の負担とします。

13. 利用料金の支払条件

利用規約第27条第3項によりサービス停止が発生した場合であっても、本クラウドサービスに対する利用料金は発生するものとします。

以 上

附則（2015年9月1日）

本規約は、2015年10月1日から適用されます。